

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2018年日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項、ならびに競技注意事項により実施する。

2 練習場及び練習について

競技中の練習はサブトラックを使用すること(雨天時は不可)。また競技に支障がない限り、マーシャルの指示に従いバックストレートを使用することはできる。その他はp7の公開練習要項を参照すること。

3 競技者の招集方法について

- ① 招集所は競技場200mスタート付近ゲートを出て旧末広中学校体育館横に設ける。
- ② 各種目の招集時間については4ページの競技進行順序の記載を守る。
なお、同じ種目においても組によって招集時間が違う場合があるので、確認すること。
- ③ 競技者は、招集完了時刻5分前までに招集所内にて待機し、自分のナンバーカードを競技者係に示し点呼を受ける。同時にスパイクシューズなどの競技場へ持ち込む物品の確認を受ける。
- ④ 他の種目に出場している場合に限り、代理人による招集を認める。また、代理人がいない場合、必ず競技者係に競技が重なっていることを申し出ること。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理されるので注意する。
- ⑥ 招集終了後、勝手に招集所を離れてはならない。移動は競技者係の指示に従う。

4 ナンバーカードについて

- ① 全ての競技者はユニフォームの胸・背に交付された大きさのまま確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけでよい。
- ② トラック競技出場者は別に腰ナンバーカードを付ける。腰ナンバーカードは招集所で競技者係が交付する。ゴール地点で必ず返却すること。

5 レーン順、試技順について

- ① トラック競技予選のレーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載順による。
- ② 決勝の組み合わせ、及びレーン順は係が抽選をし、結果を招集場に掲示する。プラス進出者を決める場合、写真判定を拡大し細部まで読み取り判定する。差がない場合は同タイム者または代理人によって抽選する。
- ③ 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分の割り当てられたレーン(曲走路)に沿って走り終わる。

6 競技について

- ① トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
- ② 競技中の助力については、競技規則第144条を適用するが、本競技会においては4項(e)を適用しない。(映像による助力を認めない)また、各種通信機器等を競技場内へ持ち込むことはできない。
- ③ トラックレースにおいて、予選で棄権により8名に満たない場合は、予選を取りやめ、決勝の時間に行なう。
- ④ フィールド内での投擲及び跳躍の練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対にしない。円盤投げ・ジャベリックスローについては、P7公開練習要項で認められた時間に行うことができる。
- ⑤ ハードル種目の高さインターバルは次のとおりとする

区 分	高 さ	Stから第1	インターバル	最終からF	備 考
男子A 110mJH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	ジュニア男子規格
男子B 110mH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	中学男子規格
女子A 100mYH	0.762m	13.00m	8.50m	10.50m	女子規格でインターバルが長い
女子B 100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	中学女子規格

- ⑥ 砲丸投、円盤の重量は次のとおりである。

《砲丸》

男子A・・・5.00kg 男子B・・・4.00kg

女子A・・・4.00kg 女子B・・・2.721kg

《円盤》

男子・・・1.50kg 女子・・・1.00kg

- ⑦ 走高跳のバーの上げ方は次のとおりである。

男子A	練習 1m50	競技 1m55～1m70まで5cmずつ	以後3cmずつ
女子A	練習 1m25	競技 1m30～1m45まで5cmずつ	以後3cmずつ

- ⑧ 円盤投、ジャベリックスロー計測ラインは以下の通りとし、2投目以降、この記録に満たない記録は計測しない。

種目	男子	女子
円盤投	20m	18m
ジャベリックスロー	37m	27m

7 競技場への入退場について

- ① 競技場への入退場は全て競技役員の誘導により行なう。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- ② トラック競技における競技者は、レース終了後、腰ナンバーカードを返却した後、各自退場する。やむを得ない場合は本部席前を通っても構わないが、迅速に行動すること。
- ③ フィールド競技における競技者は、当該競技役員・マーシャルの指示に従い入退場する。

8 競技用器具について

- ① 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。
フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意したものを使用する。終了後は競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。但し、走高跳のマーカーは各自で用意し、終了後は競技者自身で取り外すこととする。
- ② 競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm、走高跳・ジャベリックスローでは12mmを越えてはならない。また、スパイクの先端の直径は4mm以内とする。（規則143条）

10 その他

- ① 選手権獲得者には賞状と選手権章を、2位から8位までの入賞者には賞状を授与する。
- ② テントは本競技場芝生席に設置することができる。但し、スタンド席には設置しないこと。
地区は特に指定しない。
- ③ 医務室は本部席内に設けてあり、応急処置までの用意がある。
- ④ 競技結果は小樽後志陸上競技協会ホームページ上に掲載する。(http://osrk.jp/)